

紙 一 重

家でやっている防犯&防災は間違っているかも!?
最新の正しい対策法を知って、いざという時に備えましょう。

防 犯

見晴らしが抜群の高層階に住んでいるから、
室内はトランクス1枚で過ごしても大丈夫!

『高層階は安全』は間違い!

「泥棒に狙われないから、最上階に住みたい」という人もいるかもしれませんが。しかし、この常識は間違っています。不審者による侵入のリスクは、最上階も1階も同じ! 不審者が非常階段で屋上まで移動できれば、ベランダから最上階の部屋に入るのは容易なことです。過信をせず、住居の施錠はしっかりと行いましょう!

高層階でものぞき被害アリ!!

「高層階は外部からのぞかれない」というのも、間違っていると思います。高層階を狙い、他のビルから高性能の望遠鏡でのぞかれる被害例もあります。のぞきは気持ちが悪いです。けでなく、無防備な姿を盗撮され、インターネットに情報が流される可能性も。油断して、お風呂あがりや下着でウロウロ…なんてNGです!

ドアスコップも狙われている

ドアスコップから住居内をのぞかれる被害も相次いでいます。特にマンションは、廊下からリビングまで、一続きの構造が多いため、部屋の奥まで簡単に見られてしまいます。部屋の構造を知られると、二次的犯罪にいう可能性も。ドア内部にシート式のマグネットや専用カバーなどを張って、のぞきをブロックしましょう。

防 災

マンションの防災設備が万全だから安心!
個人の防災は、水と非常食の備蓄でOK?

防災カーテンの設置は義務!

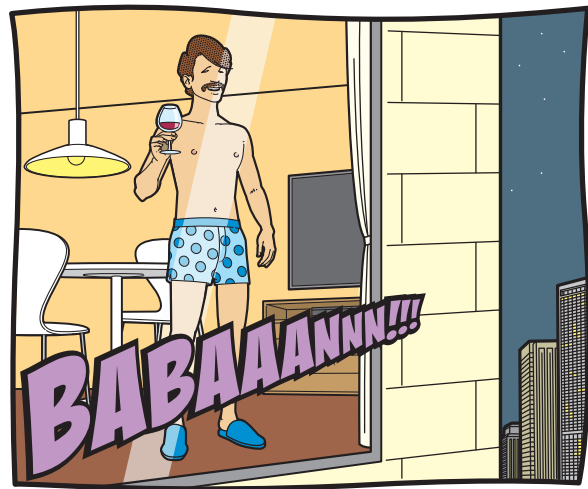
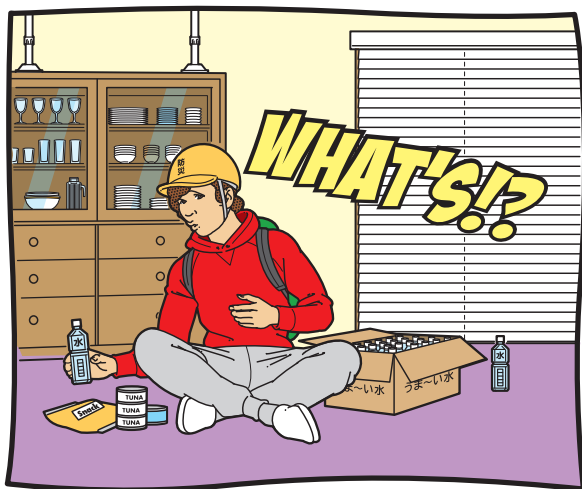
高層マンションは、震災や火災時、避難に時間がかかります。そのために、消防法で防災設備の設置が義務付けられています。ところで、居住者にも義務があることを知っていますか? 31m以上(約11階建て以上)の高層マンションの住人は、居住階に関係なくカーテンやじゅうたんを防災物品にしなければなりません。

自分の住むマンションが該当するなら、今すぐに防災カーテンに掛け替えましょう。

防災LINEグループを活用
震災や火災時、避難に時間がかかるマンションだからこそ、居住者同士で「防災LINEグループ」を作ってみませんか? LINEグループを使えば、安否確認がスムーズになります。また、事前にLI

NEでつながっていれば、互助することに抵抗感がなくなるので、緊急時に有効です。

ゴミ集積所にも携帯電話を
災害時に安否確認で、見落とされがちなのがゴミ集積所。閉じ込められるリスクを回避するためには、携帯電話を持って入室すること、出入口の扉をストッパーで開けておくことを心がけましょう。



[監修] 国崎信江 / 危機管理教育研究所代表、危機管理アドバイザー。